

# ヤング こだま

大学・高専から専門学校・短大  
の学生まで、若い人たちの意見を  
特集する「ヤングこだま」です。  
今号も浜田医療センター付属看護  
学校2年生の皆さんです。学校・学級  
単位の投稿を募集しています。投稿  
希望の学校は「ヤングこだま」係、電  
話0854(32)33005まで、通  
絡ください。

## うれしかった「ありがとう」

2年 森田 鈴香  
入学して1年、私が今思っているのは、看護師は精神的、体力的にとても大変だが、その何十倍もやりがい、達成感や喜びが得られるとても素晴らしい職業だということだ。

私は小学生の頃読んだ「ナイチンゲール」や「マザーテレサの本」に影響され、看護師に興味を持った。この1年間で特に心に

残っているのは、実習で患者さんと関わったことだ。実習では毎回1人ずつ患者さんを受け持つ。最初の実習では病院の療養環境を学ぶことが主な目的で、「コミュニケーション」を取るだけだった。が、つい最近の実習では血圧測定や全身清拭など、今まで習ってきた援助技術を実際に患者さんに実施した。

その中で私は、患者さんの疾患や症状、その時

## いつまでも初心を忘れずに

2年 河上 千咲  
つい最近入学したように、気が付けばもう2年生。国家試験はまだ先の話だと思っていたけれど、きつとあつという間に3年生になると思うと、少し焦りを感じます。合格しないと看護師にはなれないから、これからもっと勉強をしていかなければと思います。

でも、入学当初と比べると、今は学習意欲が低下していると感じます。テスト前だけ勉強して点数が取れたらいいという

う考えになり、自分の実になる学習ができていません。なぜこのような状態になっているのか考えたところ、看護師を目指したからだと気付きました。私が看護師を目指したきっかけは祖母の死です。祖母は臓臓がんのステージ4が発覚して1年もたずに亡くなりました。日に日に衰弱していた祖母を見て、この声を掛けていいかわからず、何もしてあげることができず、とても後悔しました。また、大好きだった大切な人を失うという経験を、こんなにもつらく悲しい気持ちになることを知りました。

この経験を、私は祖母のようにがんばって苦しんでいる人ばかりいるから、看護師になつて緩和ケアに携わりたいと思いました。患者の苦痛を取り除くことはもちろん、残される家族もとても苦しむことを自分が経験して分かっているの

## 学校生活1年を終えて

私は目標を決意したあの時の気持ちを思い出し、これからの学校生活を送りたいと思います。

の心身の状態に合わせて看護を提供することができたけれど大変であるかを感じた。

しかし、援助を実施した後や実習期間中に、患者さんから「ありがとう」と何度も言ってもらえた

## 寄り添い支え笑顔にしたい

2年 山本 陽香  
入学して1年、授業をこなすのに専門的な難しい学習が多くなり、本当に看護師になれるだろうかと不安になりました。2回の実習を終えて自分の実力、技術、知識不足を痛感しました。実習では毎日緊張してしまい、援助を行うことも



感じ、看護師になりたい思いが強くなりました。私が看護師になろうと思ったきっかけは父の死でした。当時、子どもながらに父の死が徐々に近

## 病態に加え心の部分も観察

2年 片石 裕梨  
入学して1年がたちました。入学当初は勉強方法が分からず、授業についていくのに必死でしたが、クラスメイトと助け合い、先生や先輩が優しく教えてくれるので、今は楽しい学校生活が送れています。

学校ではチューター制(指導者)として1人、または数人を割り当てて指導する制度で自己学習を行っています。先生が出席して、先生が出席して、患者さんの病態生から国家試験を意識し

た学習ができます。入学してすぐの実習では、患者さんとの関わり方が分からず悩むこともありましたが、先生からアドバイスを受けたり、学生間でもよりよい実習となるために気づいた

らいいのを考えたりして、学びを深められたと思います。

また、1年生から患者さんを持たせてもらえることに感謝して、実習に臨みたいと思いました。そして、患者さんの病態生から国家試験を意識し

で、病気を闘っているという、少しでも前向きになつてもらおうとするのとだと思ひます。

私たちのような不安を抱える家族は多いと思ひます。だから、寄り添い、支え、少しでも笑顔になつてもらえるよう、日々勉強し、頑張つていこうと思ひます。

2年生になつてからは講義はさらに難しく深くなつていくと思うので、自己学習をもっと増やして自分に厳しくし、立派な看護師になれるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。